

田中允編

朱刊謡曲集

三

古典文庫

田中允編

未刊謡曲集

三

古典文庫

古典文庫第二一二冊

©

昭和四十年三月二十日 印刷発行

(非売品)

校者 田中 允

三 発行者 吉田 幸一

集曲謡未刊

印刷者 帝都印刷製本株式会社
東京都板橋区熊野町三四

発行所 東京都(王子局区内)
北区西ヶ原町三ノ三四

古典文庫

電(九一九)二七一七
振替口座東京一四五九七番

目次

凡例	五
吉田本解題	七
伝本解題の補遺(二)	二六
各曲解題	二六
本文	
正成(楠木・楠正成・千劔破・赤坂・金剛山)	二八
松竹(岩根山・日本松竹)	二九
守	二九
三井(三井水)	二九
御輿振	二九
	三

御台巴（扇巴・切合巴・現在巴）……………	（三〇）……………	六
宮城野（萩）……………	（三〇）……………	七
明 静（明星）……………	（三〇）……………	七
室 山……………	（三一）……………	八〇
山本小町（歌仙？）……………	（三一）……………	八三
幽靈酒吞童子（酒吞童子・千丈嶽？）……………	（三一）……………	八七
雪……………	（三一）……………	九〇
雪頼朝……………	（三一）……………	九三
弓継物狂（弓継）……………	（三一）……………	九六
由良物狂……………	（三三）……………	一〇三
百合草若（百合草若大臣？）……………	（三四）……………	一〇六
楊 賀……………	（三五）……………	一二三
横 笛（滝口・滝口横笛・衛ヶ淵）……………	（三五）……………	一二七
芳野三位……………	（三六）……………	一三三

芳野 静前……………(三六)……………一三五

芳野 天狗(伊賀局)……………(三六)……………一三六

竜神 白楽(竜神白楽天・楽天竜神)……………(三六)……………一三三

籠 景清……………(三七)……………一三三

朗 弁……………(三七)……………一三六

童 堂(和老堂)……………(三七)……………一四二

樋口本ここまで 以下吉田本

饗 庭(相羽)……………(三七)……………一四六

青 柳……………(三七)……………一五三

明石 上(明石)……………(三八)……………一五六

足 引……………(三八)……………一六〇

足立 野……………(三八)……………一六三

熱田 竜神……………(三八)……………一六七

油火 明神……………(三八)……………一七一

菖蒲		(三八)	一七五
生卒都婆(燈台鬼)		(三九)	一七九
軍武王		(三九)	一八一
池上		(三九)	一八七
伊弉諾		(四〇)	一九三
出雲路(御靈宮)		(四〇)	一九七
磯上小町		(四〇)	二〇三
板敷山		(四〇)	二〇七
市人(費長房)		(四一)	二二三
井手詣曾我(井手詣)		(四一)	二六六
第一冊の補遺			二三三
第二冊の補遺と訂正			二三五

凡 例

一、樋口本未刊曲一一〇番の残余曲「正成」より「童堂」までの二十五番と、吉田本未刊曲百八十七番のうち「饗庭」より「井手詣曾我」までの十七番、計四十二番を収めた。吉田本は樋口本と同系統本で、やはり発音別五十音順に収めた。

一、翻刻はすべて原本通りにし、私意を加えたところは、すべて（ ）でくくつた。

一、原本には段落はないが、編者の見識で改行した。

一、異本との校合は特に注意すべき所だけに絞った。

一、節付は印刷の都合上省略した。

一、「次第」「クセ」などの重要補助記号は出来るだけ残したが、打切を意味する「ウ」間拍子を意味する「ヤ」「ヤヲハ」地拍子を意味する「トル」「片地」「ヲクリ」吟を意味する「ツヨ」「ヨハ」「和」などの特殊記号は省略した。

一、傍訓や清音を意味する「ス」などは必要と思われるもののみを残した。

二、「印は必ずしも原本通りにせず、詞の所（節付のない所）は「、節の所（節付のある所）はへを付けて区別した。（原本は「のみでへはない。また原本に「のない所にも編者の見識で「またはへを附した）」

一、句読点は原則として原本通りにしたが、八拍子一節の中間にある○は節付の記号に過ぎないので省略した。また拍子に合う所では八拍子一節の句切の所、拍子に合わない韻文の所（節付のある所）では七五調を基調とする句切の所（以上は前後の節の関係上謠本に。を付けないのである）は、それぞれ一字分空白にした。

一、濁点は原本にはない場合が多く、これはすべて補ったが、原本にある場合もあり、異本を参考にして補った場合もある。また清濁いずれか不明の場合はそのままにした所が稀にある。

一、曲名の下に数字は、樋口・吉田本共にその巻序を示した。（六2は六百番目の第二冊の意）

吉田本解題

吉田幸一氏蔵五番綴百六十冊八百番の大集成本は、わたくしが見た謡本群の中では最も数の多いものの一つであり、右の百六十冊の外に別冊として福王盛有新作曲五番綴一冊（紺表紙・無題箋・布目表紙）と「外題集」と題する目録一冊とがある。この目録の最初の百番を除き、二百番目からは目録通りに本文があるの
で、以下その目録を紹介する。△目録にはその曲の季節が曲名の下に補入してあるが、これは省略した。（ ）内は私註▽

一 青 表 紙 （百番目）

一	高砂相生	田村	湯谷	斑女	鵜飼
二	難波難波梅	兼平	千寿千寿重衡	卒都婆小町	船弁慶
三	老松	頼政宇治頼政	井筒	鉢木	羽衣

四	白楽天	実盛	玉葛	柏崎	融
五	養老養老滝	清経	采女	葵上	遊行柳
六	竹生嶋	朝長	姨棄	三井寺	阿古木
七	志賀黒主	鶴	小原御幸	紅葉狩	梅枝
八	蟻通	忠則	楊貴妃	木賊	藤戸
九	玉井	景清	杜若	安達原 黒塚 糸繰	当麻
一〇	加茂矢立加茂	俊寛	松風 松風村 村方	西行桜	誓願寺
二	呉服	八嶋	鸚鵡小町	桜川	東岸居士
三	海士	鞍馬天狗	定家	蟬丸逆髪	猩々
三	竜田竜田姫	敦盛	夕白	隅田川	善知鳥
四	春日竜神	船橋	江口	花筐	源氏供養
五	山姥	通盛	檜垣	富士太鼓	小塩
六	蘆刈	是界	芭蕉	通小町	天鼓

三	邯鄲	殺生石	野宮	百万	自然居士
元	白髭	盛久	仏原	道成寺	唐船
六	三輪	安宅	東北軒端梅	錦木	雲林院
七	右近	女郎花	関寺小町	二人静	浮船

二 黄 表 紙 (二百番目)

一	放生川	簾	落葉京落葉	籠太鼓	国栖
二	和布刈	望月	半菰	粉川寺	葛城天狗
三	源太夫	大江山酒吞童子	身延山	高野物狂	野守
四	江嶋	熊坂	芳野静	土車	小鍛冶
五	鶴亀月宮殿	春栄	碓	丹後物狂	車僧
六	寢覚三帰翁	羅生門 綱	須磨源氏	弱法師	大般若三藏
七	西王母	大仏供養	六浦六浦紅葉	歌占	松山鏡

八	伏見	俊成忠則	双子洗	松虫	石橋
九	淡路標	橋弁慶	護法名取老女	放下僧	鐘引園城寺
一〇	金札	知章	三山 桜子・桂子・ミハナシ山・ミナシ山	竹雪	鷺
二	弓八幡	経政	胡蝶	鳥追鳥追船	正儀世守
三	九世戸	項羽	舞車	藍染川	一角仙人
三	岩船	生田敦盛生田	撰待	木曾願書 木曾(外題八願書)	鍾馗
四	大社	巴	小督	鉄輪	調伏曾我
五	道明寺白太夫	七騎落	雨月	綾鼓	常陸帶
六	御裳濯	元服曾我	絃上	花月	現在鶴
七	室君	檀風	昭君	三笑	舍利
八	佐保山	土蜘蛛	祇王仏祇王	卷絹	谷行
九	東方朔	正尊	碁	加茂物狂	張良
一〇	嵐山	碇潜	雲雀山	藤栄	雷電

以下無印は樋口本所収曲。樋口本にない曲は右肩に次の意の符号を附す。ソ||謡曲叢書所収曲。シ||新謡曲百番所収曲。ス||角淵本所収曲。数字||翻刻すべき未刊曲の翻刻順位番号。

三 赤 表 紙 (三百番目)

一	鵜羽	皇帝 玄宗皇帝 御惱楊貴妃	葛城	小袖曾我	竜虎
二	絵馬	刀	朝良	呂后	鶏竜田
三	大蛇	禪師曾我	恋重荷	敷地物狂	錦戸和泉三郎
四	氷室	夜討曾我	輪藏	咸陽宮	大会
五	松尾	治親 磯屋 磯屋十郎	水無瀬為世	池贇	泰山府君
六	鼓滝	烏帽子折	陀羅尼落葉陀羅尼	菊慈童	厳嶋
七	白主葛城加茂	岡崎	檜塚	草薙	橋立
八	逆鉾	御室経政	千引	浜川	武文
九	浦嶋水之江	清重	住吉詣	広元	飛雲

一〇 香椎

惡源太義平

和泉式部稻荷山 植田入間

降魔

二 神有月

巖洞鈴鹿姫

玉津嶋

伏木曾我

松浦鏡松浦姫

三 真名井原

内府教訓
教訓状

空蟬

稻船定世

丁固松

三 稻荷竜頭太夫

志賀忠度

貴布禰

枕慈童鄺縣山

芳野天人

四 富士山

関原関原与市

刈萱

神崎源空流
上人流

信夫

五 鶴祭

小林内野合戦
桐ノ小林

高安

虎送虎送曾我

馬融

六 芳野古守

行家

身延現在七面

松山讃岐院 駒形猩々岩尾猩々

七 芳野琴

惟盛

墨染桜

水無月祓

鱗形

八 育王山

二度掛

狭衣

籠祇王

第六天

九 志宜山

座論梶原座論

濡衣

兼元熊野参詣

愛宕空也

二〇 箱崎

愛寿愛寿忠信

求塚若菜

武王

当願暮頭

四 白 表 紙 (四百番目)

一 花軍

楠

女沙汰

内海二人御子

連獅子

二	七夕 彦星 星合 竜神	御坊曾我	栗津采女	羊	室山
三	不断桜	涿鹿	恋松原	経書堂	野干
四	寄合猩々 大瓶猩々 七人猩々	鶴若	横笛	浦下部浦上	東心坊
五	竜神白楽	追懸鈴木	反魂香アハデノ杜	浜球	千人斬
六	太施太子	佐々木馬乞	佐国	会盟卞和	韋駄天
七	太子	鈴木重家	蛙	室住	菅丞相
八	橘	西寂河野四郎	総角	鞠	鳴不動
九	盛徳西王母	貞任	松浦梅	身売	金剛山
一〇	玉鉾	帰鷹	露	文学	合甫
二	小尉 一八四	太刀堀	鴛鴦 ス	河水 ソ	佐保川 ソ
三	宮川	笠卒都婆	末松山	飛鳥寺	村山長尾
三	鷹	一来 一来法師 乘明坊	宇治橋	雪鬼	比良国久
二	飛加見	経盛	実方	蘭田	東海寺
					桜間

五 九穴玉

朝比奈

隱岐院

木幡

光季

六 法海寺

治時秦治時

七面

松浦物狂

犀

七 花櫓

熊手判官

玉執

笛物狂

親任

八 熱海

黒川

宇治橋姫

簗

守屋

九 鵜丸

影山

飛鳥川

磯崎

吉水

三 豊干寒山寺

横山治直

芳野静前

橋弁慶前

猩々前

五 黒表紙 (五百番目)

一 丁固

雪頼朝

宮城野

箱崎物狂

明静

二 径山寺

親平

安達静

千寿寺

安犬

三 鹿嶋

権之頭

玉水

檜天狗

大木

四 御崎

次信

鶴岡

満仲仲光

鞍馬鞍馬源氏

五 八幡

芳野三位

安宇

斎藤五

関戸早川

六 巴藺

範頼

初瀬詣初瀬

籠尺八

鳶鳶ノ岩屋